

令和5年度 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金の評価結果(豊明市)

評価指標	配点	得点	主な減点項目	今後の対応または得点できない理由
<b>I PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築</b>				
	170	165	介護人材実態調査等により、介護人材の実態を把握している(-5点)	介護人材実態調査は実施していないが、見える化システムを活用し、介護人材の現状及び課題を把握している。
<b>II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進</b>				
(1)介護支援専門員・介護サービス事業所等	100	100		
(2)地域包括支援センター・地域ケア会議	165	145	地域包括支援センターの体制充実(※)による適切な包括的支援事業を実施しているか。 ※地域包括支援センターの3職種(準ずる者を含む)一人当たり高齢者数(圏域内の第1号被保険者数/センター人員) (-20点)の状況により評価	包括人員について受託法人と協議していく。
(3)在宅医療・介護連携	120	120		
(4)認知症総合支援	140	140		
(5)介護予防/日常生活支援	560	485	通いの場への65歳以上の方の参加率はどの程度か(【通いの場への参加率=通いの場の参加者実人数/高齢者人口】等) ア参加率が全国保険者の上位7割以上(15点獲得) イ参加率の変化率が全国保険者の上位7割以上(-15点) ウ月一回以上の通いの場への参加率が全国保険者の上位7割以上(15点獲得) エ月一回以上の通いの場への参加率の変化率が全国保険者の上位7割以上(-15点)  社会福祉法人・医療法人・NPO・民間サービス等と連携した介護予防の取組を実施しているか。 参加者の心身の改善等の成果に応じて報酬を支払う成果連動型の委託を実施している。(-15点)  高齢者の社会参加を促すため個人へのインセンティブを付与しているか。 高齢者のポイント事業参加率が当該地域の高齢者全体の1割を超えている(-15点) ポイント事業参加者の10%以上が心身・認知機能等を維持改善している(-15点)	参加率が既に高い水準のため、変化率は低い。  成果連動型の委託が適切な事業がないか検討する。  ボランティアを実施していてもポイント事業に参加していない高齢者も多いため、ポイント事業の周知や手続きの簡略化等を検討していく。維持改善率については、今後、データ化していく予定。
(6)生活支援体制の整備	90	85	生活に困難を抱えた高齢者の住まいの確保・生活支援に関する支援を実施しているか。市町村において居宅協議会を設置している(-5点)	居宅支援協議会は設置していないが、低価格帯の団地があり、団地を管理する事業者等を含めた会議を実施し、団地に居住する高齢者の買い物支援等を実施している。
(7)要介護状態の維持・改善の状況等	600	240	すべて数値評価分(-360点) 短期間的な要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況 例:軽度(要介護1・2)の方が1年後に要介護度がどのようになっているか	
<b>III 介護保険運営の安定化に資する施策の推進</b>				
(1)介護給付の適正化等	120	115	ケアプラン点検をどの程度実施しているか(-5点)	数値評価であり母数となるケアプラン数は厚生労働省が任意に定義して算定されていること、また既に全保険者の上位3割には入っていること、さらに過度なケアプラン点検の要求はケアマネージャーの負担となりかねないことを考慮し、ケアプラン点検数が必ずしも少ないとは考えていない。今後も新規ケース等の点検の必要性が高いケアプランについては点検を続けていく。
(2)介護人材の確保	120	111	文書負担軽減に係る取組を実施しているか。 提出方法(持参・郵送)の見直しによる簡素化(-1点) 人員配置に関する添付資料の簡素化(-1点) 施設・設備・備品等の写真の簡素化(-1点) 併設事業所の申請における提出書類の簡素化(-1点) システムの活用による標準化(-5点)	現在はシステムによる届出を行っておらず、持参や郵送による届出を原則としているが、今後はシステムによる届出ができるよう対応する予定である。添付書類や写真については、適正な事業所指定のため求めているところであるが、事業所の負担とならないように検討したい。
合計	2,185	1,706		